

証券コード：7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

2023年3月期 第3四半期

決算説明補足資料

2023年2月8日（水）
株式会社鳥羽洋行

I .2023年3月期 3 Q決算について

II .今後の戦略及び見通し

I .2023年3月期 3 Q決算について

＜連結損益計算書の概要＞

(単位：百万円)

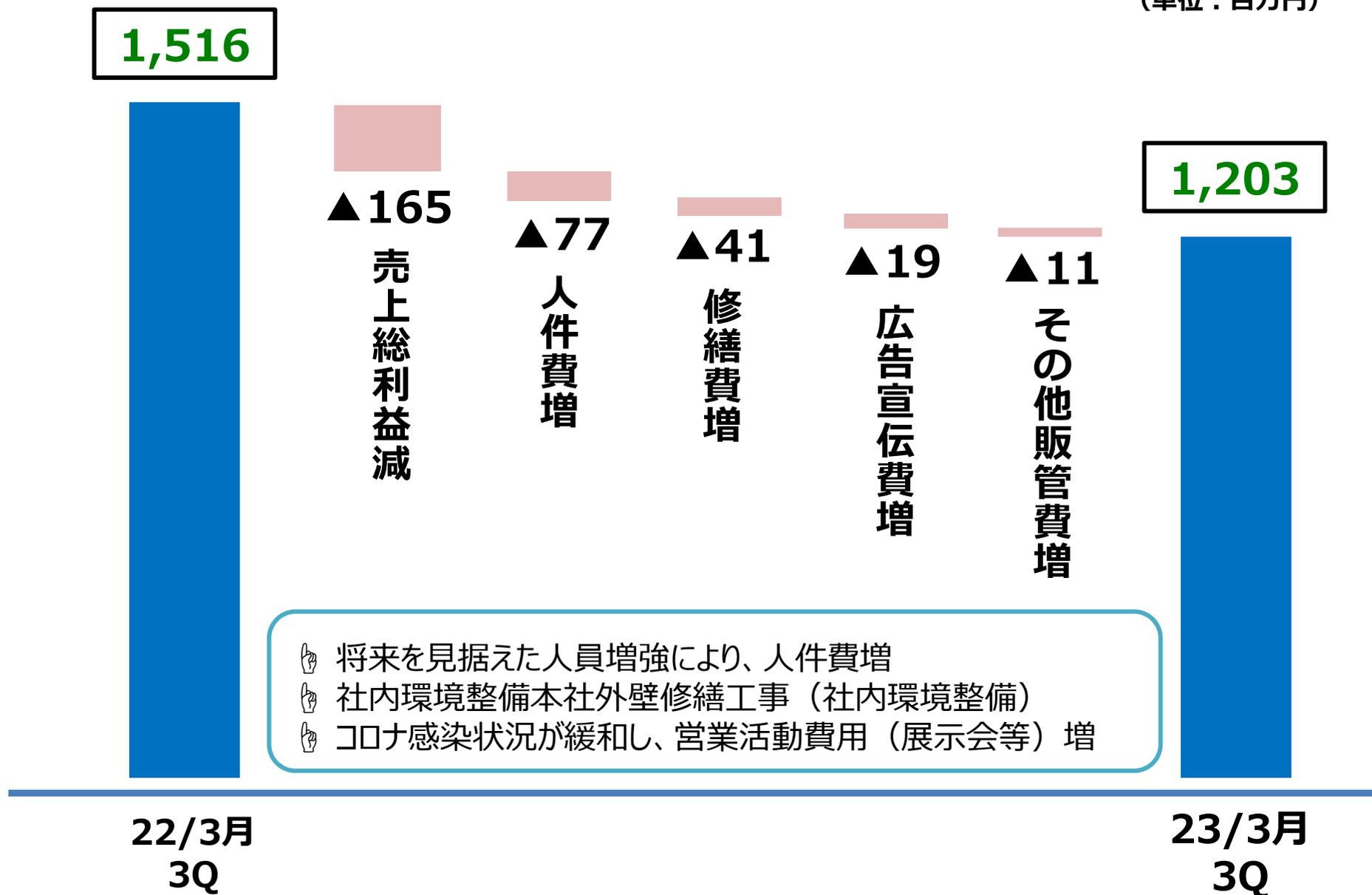
	22/3月期 3Q	23/3月期 3Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	21,905	21,576	▲1.5%	
営 業 利 益	1,516	1,203	▲20.7%	・売上総利益率 前期比▲0.6P ・販管費は前期比 +8.3%
営 業 利 益 率	6.9%	5.6%		
経 常 利 益	1,585	1,289	▲18.7%	
経 常 利 益 率	7.2%	6.0%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,119	898	▲19.8%	
四半期純利益率	5.1%	4.2%		

Point !

- 国内単体売上は前期比 4.1%増
- 中国子会社の売上減少により、減収減益
- 人件費及びその他販売管理費増により利益減

<連結営業利益増減分析>

(単位：百万円)

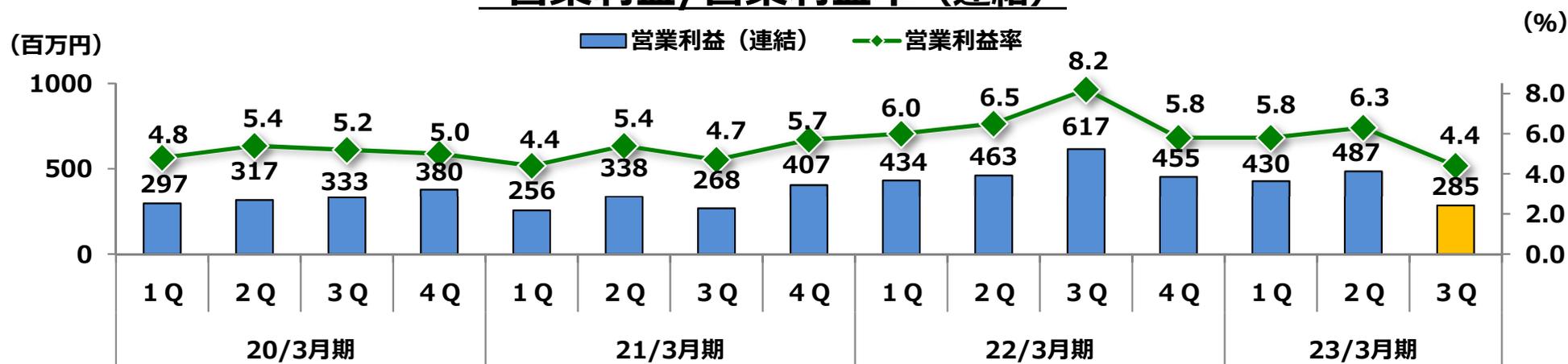


<四半期毎の売上高・営業利益（連結）の推移>

売上高（連結）



営業利益/営業利益率（連結）



Point !

- 売上高 減少：中国子会社のスマホ/電子部品関連向け売上が低迷
- 営業利益 減少：売上高の減少と販売管理費の増加

<部門別実績>

制御機器



空気圧・油圧・直動機器/流体継ぎ手/電子センサ等

<主な得意先の業種>
デジタル機器/半導体・液晶製造装置/基盤実装機/自動車・車載部品/工作機械等

F A 機器



ロボット・自動組立機/基盤実装関連/レーザー加工機/画像・計測機器等

<主な得意先の業種>
デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/OA機器/医療機器/食品機器等

産業機器



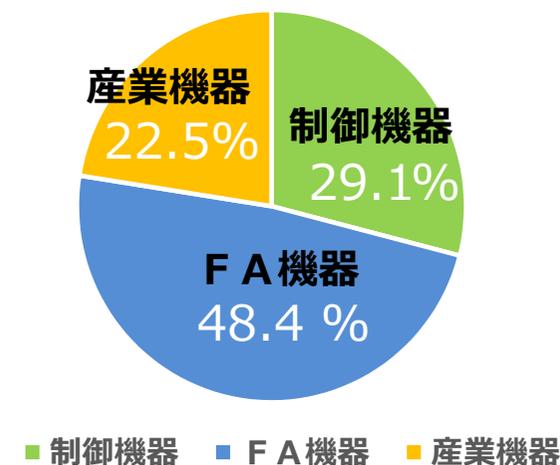
環境機器/物流・搬送機器/一般産業機器/工具等

<主な得意先の業種>
デジタル機器/自動車・車載部品/半導体・液晶製造装置/精密機器等

【連結売上高】

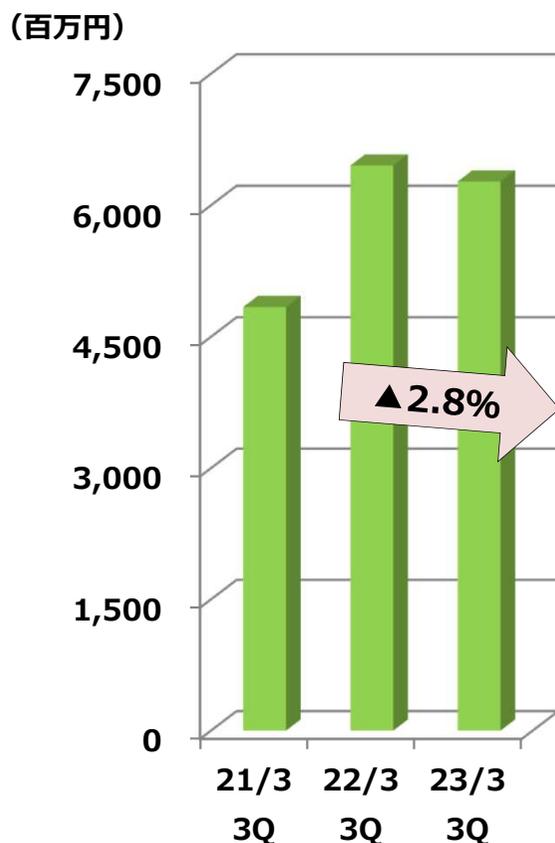
制 御 機 器	62億71百万円
F A 機 器	104億51百万円
産 業 機 器	48億53百万円
合 計	215億76百万円

部門別 比率

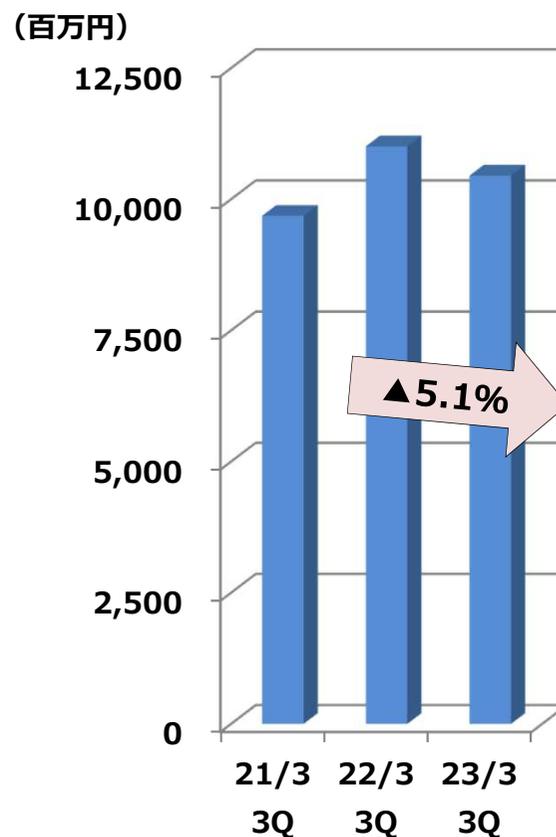


<部門別連結売上高推移>

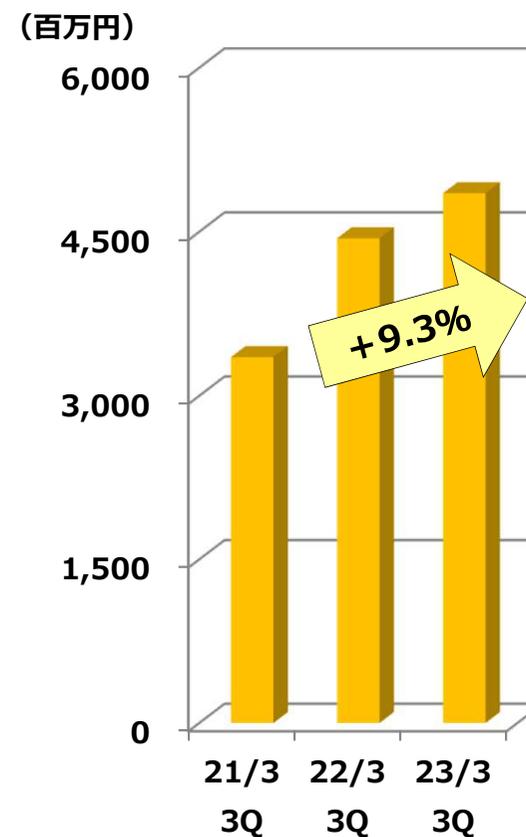
制御機器



F A 機器



産業機器



Point !

■ 【制御機器】 / 【F A 機器】

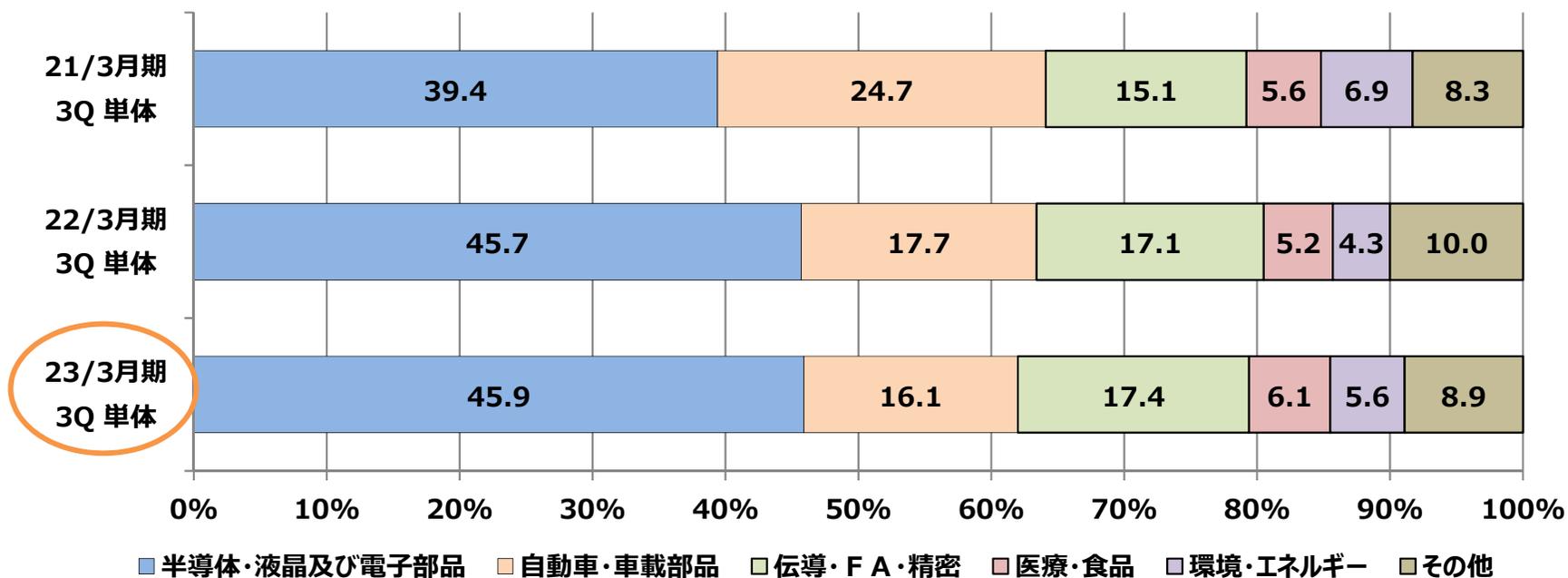
国内は各種自動化装置の需要は底堅く前年同期比を上回ったが、中国子会社の電子部品関連の得意先への販売が、ゼロコロナ政策/感染拡大等により低迷

■ 【産業機器】

各種、工場設備向け機器の需要が好調に推移

半導体関連の得意先へ「ろ過フィルタ」(環境機器)の販売が大きく伸びた

<業種別売上構成比（単体）推移>



Point !

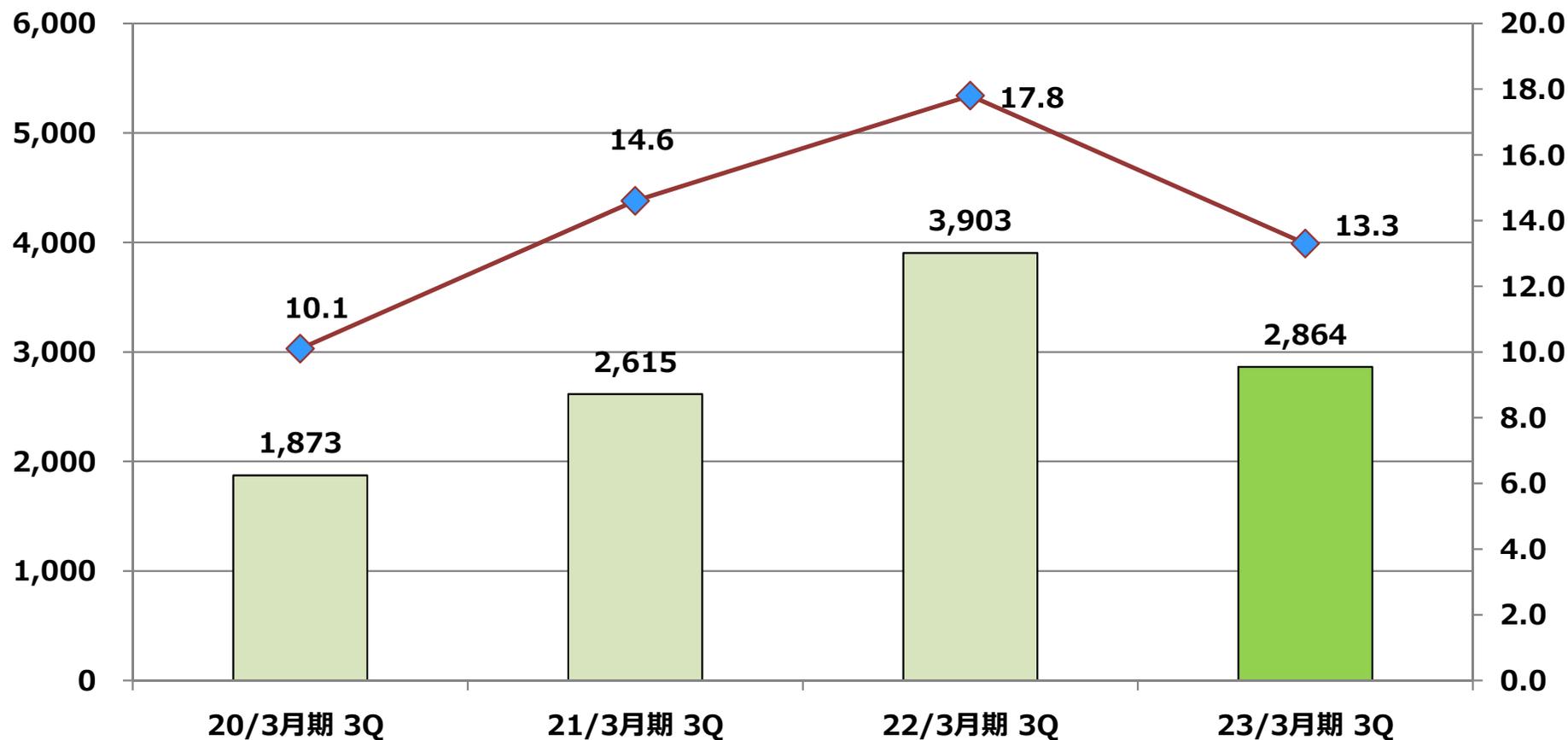
- 半導体・液晶及び電子部品
スマホ・PC向けは縮小傾向であるが、その他デバイスが好調に推移（+0.2 P）
- 自動車・車載部品
EV向け設備は好調を維持したが、その他自動車生産が部材不足の影響あり、微減（▲1.6 P）
- 伝導・F A・精密 及び 医療・食品
医療・食品向け装置関連得意先への販売が増加（+1.2 P）
- 環境・エネルギー
自動車部品関連の環境設備への受注あり、拡大（+1.3 P）

<海外売上高・海外売上比率>

(単位：百万円)

■ 海外売上高 ◆ 海外売上比率

(単位：%)



Point !

- 中国子会社におけるスマートフォン関連得意先への販売が低迷し、海外売上が減少

＜連結貸借対照表の概要＞

(単位：百万円)

	22/3月末	構成比 (%)	22/12月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	21,761	75.1	21,921	76.9	
現金・預金	10,100	34.9	10,838	38.0	
受取手形・売掛金 ※電子記録債権を含む	11,251	38.8	10,546	37.0	
商品	275	1.0	413	1.5	
固定資産	7,206	24.9	6,602	23.1	
資産合計	28,968	100.0	28,524	100.0	
流動負債	9,237	31.9	8,710	30.5	
支払手形・買掛金 ※電子記録債務を含む	8,129	28.1	8,270	29.0	
固定負債	450	1.6	448	1.6	
負債合計	9,687	33.4	9,158	32.1	
純資産合計	19,280	66.6	19,365	67.9	
負債純資産合計	28,968	100.0	28,524	100.0	

Point !

- 構成比に大きな変化はございません。

Ⅱ. 今後の戦略及び見通し

欧米

世界的インフレ、米国金利政策により、米国経済を中心に景気減速の懸念

欧州経済は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー不足等の地政学的リスクあり

世界的な資材の高騰や入手困難による、生産抑制や設備投資縮小の懸念

中国

ゼロコロナ政策緩和後のコロナ感染再拡大による、設備投資及び生産縮小懸念や、米国/台湾間との半導体に関連する諸問題や地政学的リスクあり

一方、電気自動車関連の設備投資は継続的に旺盛と予測

国内

記録的な円安は落ち着きをみせたが、世界的な資材等の高騰による生産コストの上昇

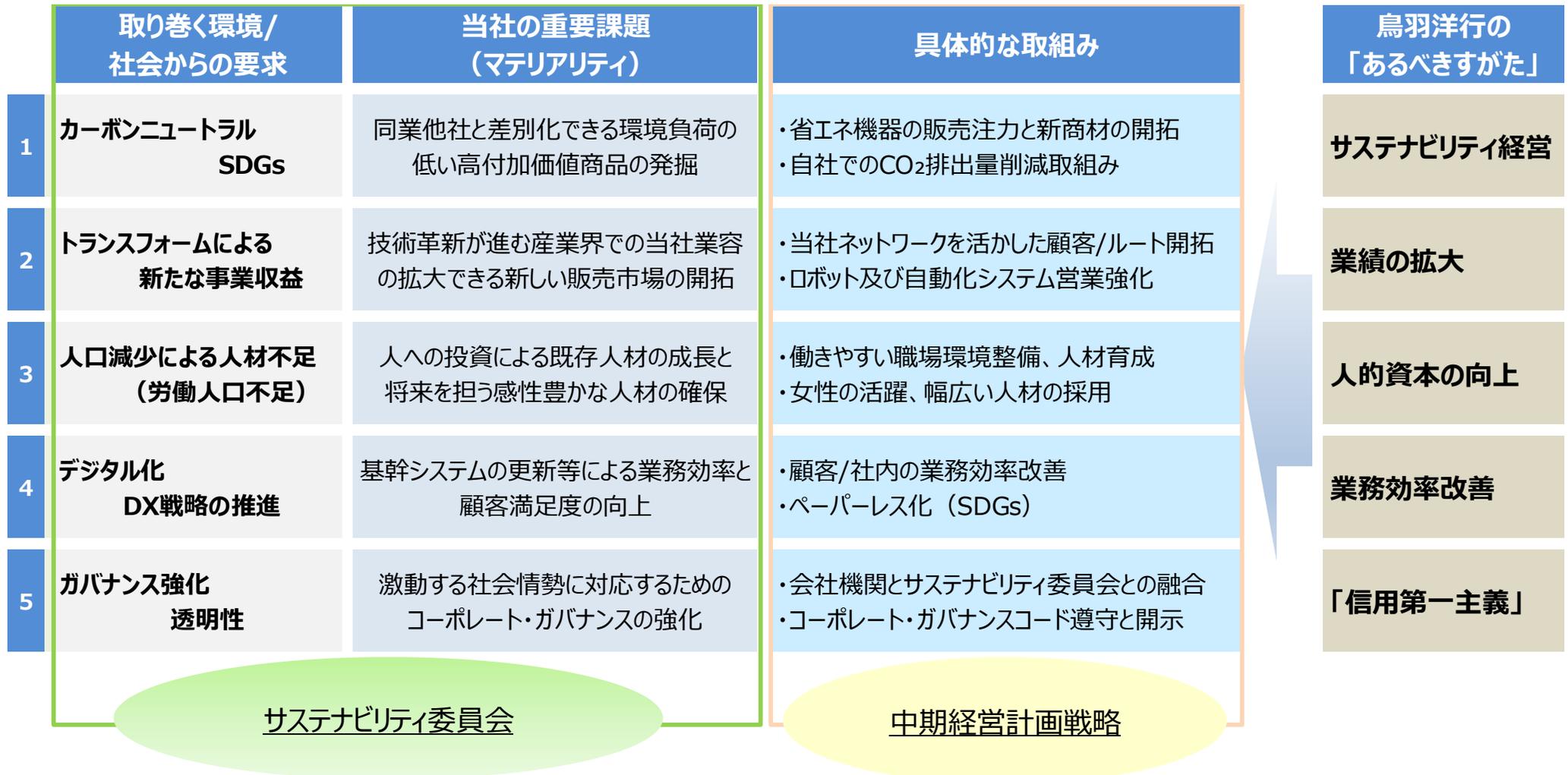
自動車は生産数が減少傾向にあるが、EV / C A S E 関連への設備投資は好調

スマホ及びP C 関連半導体の需要は低迷したが、その他半導体の需要は高止まり傾向

人手不足による生産システムの自動化の流れは継続し、ロボット需要は増加傾向

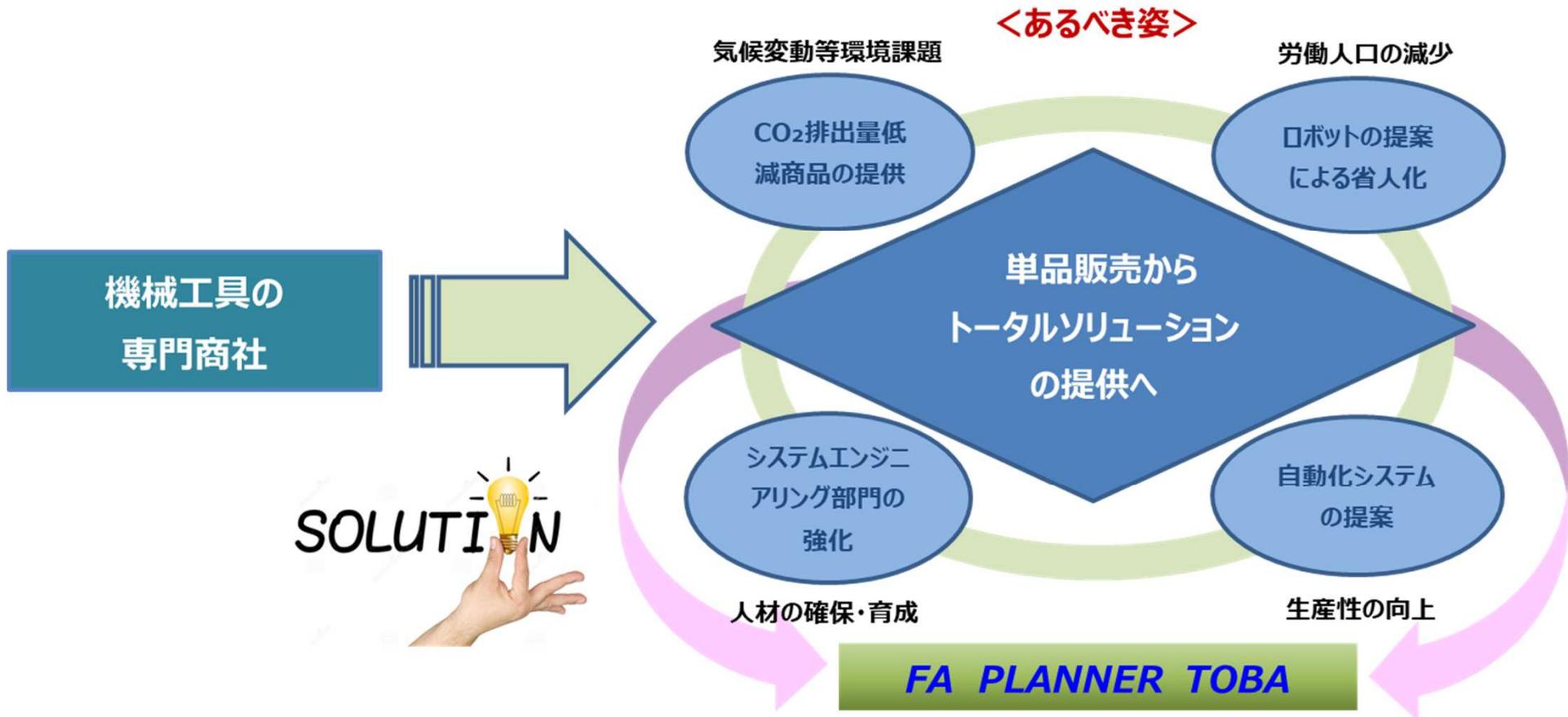
<企業価値向上へ向けた取組み ~重要課題 (マテリアリティ) ~ >

当社は、サステナビリティ委員会において「重要課題(マテリアリティ)」を抽出し、サステナビリティの取組みと中期経営計画戦略を連動させ、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指した取組みを行います。



<企業価値向上に向けた取組み ~トランスフォーム~>

現状の事業から、新たな収益構造の構築



Point !

- 労働人口の減少に伴い、ロボット/自動化システムの売上高は毎年増加
- 自動化システム提案強化 → 営業のスキルの向上（資格取得支援）
- 省力化と併せて、CO₂排出量削減商品の販売強化

< 中期経営計画 ~Next Stage 2025~ >

(単位：百万円)

	「Next Stage 2025」		
	第74期 (2023年3月期)	第75期 (2024年3月期)	第76期 (2025年3月期)
	計画	計画	計画
売上高	31,000	33,000	35,000
営業利益	1,960	2,100	2,250
経常利益	2,070	2,200	2,350
当期純利益	1,440	1,530	1,620

※ 2022年8月9日 リリース

Point !

- 2022年3月期は、中期経営計画数値目標を達成
- 2022年8月9日、新たに2023年3月期～2025年3月期の3ヶ年計画をリリース
- 今期目標数値：売上高310億円達成に向けて進捗中

※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく、「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。

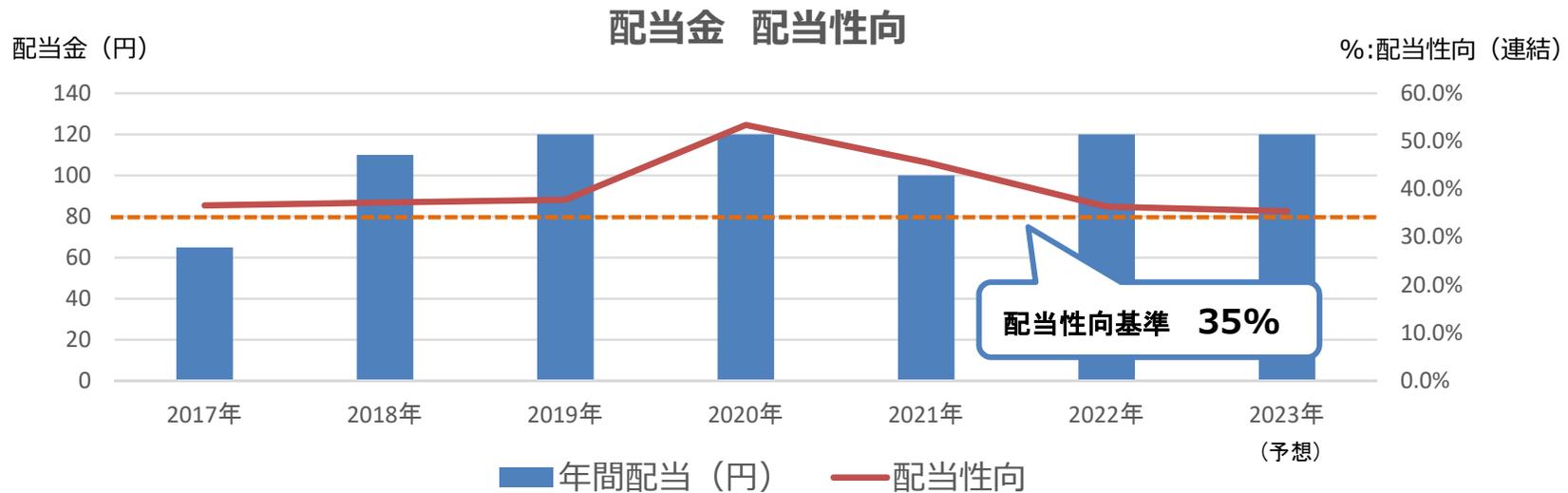
<2023年3月期の連結業績予想>

(単位：百万円)

	22/3月期 (実績)	23/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	29,730	31,000	4.3%
営業利益	1,971	1,960	▲0.6%
営業利益率	6.6%	6.3%	
経常利益	2,061	2,070	0.4%
経常利益率	6.9%	6.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,424	1,440	1.1%
当期純利益率	4.8%	4.6%	

<株主還元について>

- ◆ 配当方針：長期的、安定的な利益還元の実施を目標とする
- ◆ 連結配当性向を35%以上とし、一株当たりの配当金を下限40円とする



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (予想)
年間配当 (円)	65	110	120	120	100	120	120
配当性向	36.6%	37.2%	37.8%	53.4%	45.6%	36.3%	35.4%

※2021年3月期の配当金は、記念配当 20円を含む

<展示会出展報告>

関西 機械要素技術展 M-Tech KANSAI

開催日：2022年10月5日(水)～7日(金) インテックス大阪

当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。今後の注力商品についてもデモ機実演を交えて紹介し、具体的な引き合いを多数いただきました。今後も主要な展示会に出展し、売上規模拡大と鳥羽洋行ブランドの浸透を行い、企業価値の向上を目指します。

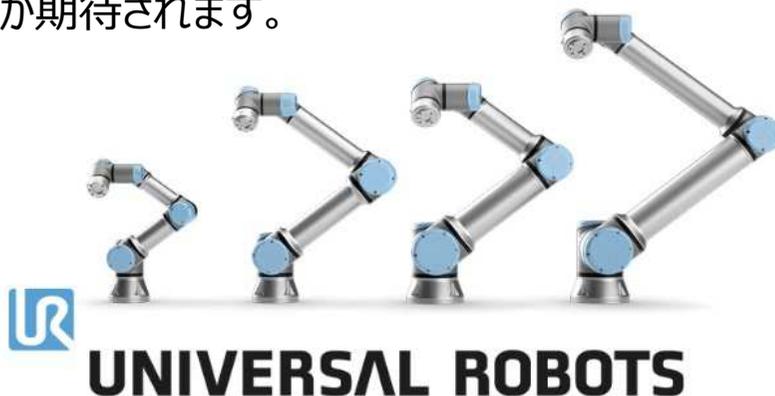


来場者人数：2,058名

<注目商品>

～ ユニバーサルロボット ～ 協働ロボット

ユニバーサルロボットは、人に寄り添って作業ができる安全な「協働ロボット」です。長時間に及ぶ苦痛を伴う単純作業や細かい作業を、省スペースで人に代わって作業してくれます。少子高齢化による労働人口の減少に伴い、今後も需要拡大が期待されます。



作業に合わせて、大小多彩なラインナップ。掴む/吸う/挟む等、シーンに合わせてハンド（手指）部分のオプションを用意しております。

この資料には、2023年2月8日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではありません。

<問い合わせ先>

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp